

金城学院大学医療ソーシャルワーク研究会主催

## 「第2回 ナラティブ・アプローチセミナー

### ～パラレルチャートを書こう～のご案内

金城学院大学医療ソーシャルワーク研究会（顧問・浅野正嗣）は平成14年より、金城学院大学の卒業生を中心にこれまで定期的に開催しております。

昨年度に引き続き小森康永先生（愛知県がんセンター中央病院緩和ケア領域精神科医）による第2回ナラティブ・アプローチセミナーを開催致します。

今回は、ナラティブ・メディスンにおける訓練の1つに位置づけられているパラレルチャートについて学びます。患者・家族との面接では多くの物語に出会います。公の臨床記録には書けないが、どこかに書く必要があり、書くことで物語能力の訓練の向上や、スタッフのメンタルヘルスにもつながるともいわれています。この機会にぜひ一緒に学んでみませんか。セミナー後半は、前回ご好評いただいた「あたかも症例検討会」も行います。みなさまのご参加をお待ちしています。

#### 記

テーマ：「第2回 ソーシャルワーカーのためのナラティブ・アプローチ入門」

講師：愛知県がんセンター中央病院精神腫瘍科部長 小森康永先生

日時：2019年8月25日（日）13：30～17：00（受付13：00～）

\* 終了後に懇親会を予定しています。（自由参加、一人3,000円位、鶴舞駅周辺）

場所：日本福祉大学名古屋キャンパス 南館5階 501教室

（名古屋市中区千代田5-22-35）

参加費：主催・共催団体会員 3,000円

愛知県医療ソーシャルワーカー協会会員 4,000円

その他 5,000円

\* 当日、会場にて徴収します。

定員：30名（先着順）

共催：ソーシャルワーカー・サポートセンター名古屋

後援：愛知県医療ソーシャルワーカー協会（予定）

#### 【参加申し込み方法】

2019年7月26日（金）までに別紙「参加申し込み用紙」に必要事項をご記載の上、下記までメールでお申し込み下さい。

メールアドレス：金城学院大学研究会事務局代表（早川） [yuko.h.inagaki@gmail.com](mailto:yuko.h.inagaki@gmail.com)

## 小森康永先生のプロフィール

- 1960年 岐阜県生まれ  
1985年 岐阜県医学部卒業  
同大学小児科に在籍  
1995年 名古屋大学医学部精神科へ転入後、愛知県立城山病院に勤務  
2006年 愛知県立がんセンター中央病院に勤務  
現在、精神腫瘍科部部長。  
2013年より日本家族研究・家族療法学会編集委員長。

### 資格：

臨床心理士、精神科専門医、精神保健指定医、日本サイコオンコロジー学会登録精神腫瘍医

### 所属学会：

日本緩和医療学会、日本サイコオンコロジー学会、日本精神神経学会、日本家族研究・家族療法学会（編集委員長、評議員）、日本描画テスト・描画療法学会

### 主な著書・訳書：

- 『緩和ケアと時間』（金剛出版、2010年）  
『ディグニティセラピーのすすめ～大切な人に手紙を書こう～』（共著、金剛出版、2011年）  
『終末期と言葉』（共著、金剛出版、2011年）  
『ナラティブ・オンコロジー』（共著、遠見書房、2014年）  
『バイオサイコソーシャルアプローチ』（共著、金剛出版、2014年）  
ブライアン・フィース『母のがん』（ちとせプレス、2018年、\*解説を担当）  
ホワイトとエプストン『物語としての家族』（金剛出版、1992年）  
ヘルとウィークランド『老人と家族のカウンセリング』（金剛出版、1996年）  
など多数

\* 当日参加される方は、小森康永著『ナラティブ・メディスン入門』（遠見出版）を事前にお読みいただくことをお勧めします。

金城学院大学医療ソーシャルワーク研究会主催

「第2回 ナラティブ・アプローチセミナー  
参加申し込み用紙」

|                                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|
| 氏 名                               |                   |
| 所 属                               |                   |
| 連絡先<br>(職場・自宅)<br>*いずれかに○を打って下さい。 | 電話 :<br><br>メール : |
| ソーシャルワーク歴                         | 年                 |
| 参加理由<br>(ご自由に)                    |                   |